

長野市芸術館へのネーミングライツについて

文化スポーツ振興部文化芸術課

長野市芸術館の協賛パートナーについて

平成28年5月の開館以来、長野市芸術館の管理運営は、地元企業（協賛スポンサー）のご支援に支えられている。

◆年間協賛パートナー

- ・ゴールドパートナー（1口100万円）
- ・シルバーパートナー（1口 50万円）
- ・ブロンズパートナー（1口 10万円）

◆事業協賛パートナー

- ・主催公演等への協賛金
（金クラシリーズ、ランチタイム・ピアノコンサート、ピアノ・コンサート）
- ・技術協力（技術者派遣、調律料割引等）、物品提供
（ピアノコンサート、水クラシリーズ、金クラシリーズ）

◆協賛に対するインセンティブ

- ①建物内で企業名を表示（協賛パートナーポスター・デジタルサイネージ）
- ②各種印刷物等へ企業名を表示（年間公演カレンダー、主催公演チラシ、公式ウェブサイト）
- ③芸術館主催公演への招待など

台風19号災害・新型コロナ
の影響による減少

年間協賛	H28	H29	H30	R 1	R2	R3	R4(見込)
協賛金（千円）	24,400	23,328	24,408	22,788	20,130	19,580	22,550
企業数 計	48	68	73	77	73	75	89
ゴールド	18	14	14	12	11	6	7
シルバー	3	6	7	8	6	12	13
ブロンズ	27	48	52	57	56	57	69
事業協賛	H28	H29	H30	R 1	R2	R3	R4(見込)
協賛金（千円）	108	—	—	132	437	1,004	440
企業数	1	—	—	2	3	3	2

◆協賛金収入は、芸術館の管理運営に大きく寄与している。

ネーミングライツ導入による影響について

メリット	デメリット
複数年に渡り安定した収入が得られ、施設維持費等の軽減が図られる。	同業他社からの協賛金獲得が難しくなり、協賛金収入の大幅な減額が見込まれる。
施設の魅力向上などを目指して、スポンサー企業による地域貢献や地域活性化が期待できる。	これまで築いてきた地元企業との連携や信頼関係を重視する芸術館の基本方針と相違する。
	短期間で施設名称が変わる可能性があり、地域における公共ホールとして市民へ定着しにくい。
	積極的に進めている主催公演等の「事業協賛パートナー」への賛同が得られにくい。
	同業他社や異業種企業の主催・後援・協賛する公演等は敬遠される可能性がある（貸館への影響が大きい）。

市の対応方針について

■長野市芸術館の運営方針（3つの柱）

- ①プロのアーティストと市民が気軽に触れ合える「市民参加型事業」
- ②芸術館がアーティストと協力して創り上げる「長野市芸術館オリジナル企画」
- ③子供から大人まで、幅広い世代に生演奏の素晴らしさを届ける「育成・普及事業」

長野市芸術館は、**「ともに成長」を最大のテーマ**に、市民にとって身近な公共ホールとしての存在感を高めて、**より多くの市民や地元企業の皆様とともに成長していける環境**造りを目指している。

■また、開館6年目を迎え「長野市芸術館」の名称は広く市民に知られ、利用者から親しまれている。

市民やより多くの地元企業との関わりが不可欠であることを踏まえ、今後もネーミングライツではなく「協賛パートナー」による財源確保が有効である。

施設名 [最大席数]	ネーミングライツ			運営主体	運営主体 協賛金等 (万円／年間)
	導入	施設の愛称 パートナー	命名権料 (万円／年間)		
長野県県民文化会館 [1,971席]	有	ホクト文化ホール (株)ホクト	2,000	指定管理者 (一財)長野県文化 振興事業団	—
長野県松本文化会館 [2,000席]	有	キッセイ文化ホール キッセイ薬品工業(株)	1,500	指定管理者 (一財)長野県文化 振興事業団	—
千曲市更埴文化会館 [760席]	有	信州の幸(めぐみ) あんずホール (株)三幸商事	300	千曲市	—
長野市芸術館 [1,292席]	無	—	—	指定管理者 (一財)長野市文化 芸術振興財団	2,255 (R4見込)